

全沖縄県ウエイト制空手道選手権大会(高校生男子重量の部)優勝

9月18日(日)コザ信金スタジアム武道場において全沖縄県ウエイト制空手道選手権大会が開催され、手登根成龍君(1年6組)が高校生男子重量の部で優勝しました。

この大会は、沖縄県の極真空手道場で鍛錬している選手たちが一堂に会し技を競うもので、ご存じの方も多いと思いますがフルコンタクト(寸止め競技ではない)で行われるものです。

私は、相手とそのような組み手を行うことに恐怖を覚えますが、本人にインタビューしたところ「試合の前はやっぱり怖いですが、でも、苦しい練習を思い出すことで自信を取り返すことができます」ときっぱり。

さらに、今回の試合では「相手のパンチを多くもらいすぎました。でも、ローキックがたくさん決まり、合わせ技まで決まったので満足です」と冷静な分析を披露してくれました。

今後の目標を聞くと「パンチの強化と、もっと落ち着いて余裕のある試合展開を目指したいです」と次の目標を見据えた、堂々とした口調で話してくれました。

本競技を始めたのは幼稚園(5歳)の頃、保育園の先生が本競技をされていて「ごく自然に(競技に)入っていった」そうです。終始、会話の中で素敵な笑顔を見せる中、時折のぞかせる鋭い眼光が武道家のオーラを放ちます。その道を極めようとする16歳がG高には居ます。

